

米証券、推奨株の成績改善

米証券・調査会社の株式売買推奨成績
ランキング（過去1年、7月4日現在）

順位	証券会社・調査会社	騰落率(%)
1(4)	コロンバイン・キャピタル・サービス	17.5(▲4.0)
2(15)	フォード・エクイティ・リサーチ	14.5(▲3.1)
3(1)	チャンネル・トレンド	12.3(▲8.9)
4(7)	ドイツ銀行	10.9(▲0.4)
5(16)	ウェイス・レーティングス	10.6(▲4.7)
6(2)	キャラード・リサーチ	9.5(▲6.9)
7(3)	トーマス・ホワイト・グループ・キャピタル	8.8(▲5.9)
8(11)	スミス・バーニー	5.6(▲0.8)
9(21)	メリルリンチ	5.2(▲7.8)
10(23)	パイパー・ジェフリー	5.0(▲12.7)
11(-)	アルガス・リサーチ	5.0(-)
12(13)	J Pモルガン	4.0(▲2.1)
13(6)	UBS	3.9(▲1.6)
14(10)	ゴールドマン・サックス	2.9(▲0.4)
15(20)	スタンダード・アンド・プアーズ	2.1(▲6.1)

(注)米インベスターズ・ドット・コム調査、500銘柄以上を調査する証券・調査会社がランキング対象。騰落率はS&P500種株価指数をいくら上回ったかの比率、▲はマイナス、カッコ内は過去4年間、太字は2003年に米規制当局と和解した証券会社

アナリスト改革奏功？

株価指数 11社中、7社上回る

インベスターズの調査は、過去4年間でみると、経営責任者は「調査の透視は五百銘柄以上を調査する証券会社十一社と調査指数を上回っておらず、他社と容易に比較できる会社十五社を対象に実施。最近の改善ぶりが顕著。ようになつたことが質の証券会社について同社のキアンプル最高改善につながった」とみ

【ニューヨーク＝藤田和明】米証券大手が推奨する株式の売買成績が改善してきた。米調査会社インベスターズ・ドット・コムが証券会社の売買推奨に従って株式投資した場合の成績（推奨成績）を集計。過去一年間（七月四日現在）で、証券十一社のうち七社の推奨成績がS&P五百種株価指数を上回った。投資銀行部門からの厳格な分離などの改革の成果が上がってきたとの見方も出ている。

ている。

米大手証券のアナリストはネット株バブル以降、投資銀行部門の顧客を優先し、投資家の利益を無視する売買推奨を行っていた実態が露呈。この利益相反問題について、米規制当局から厳しい追及を受けた。二〇〇三年四月には罰金の支払いや、投資銀行と調査部門の厳格な分離などで当局と和解。一年前の七月からは、外部の独立系調査会社による「ポートも同時につけて顧客に株式営業することを義務づけられた。メリルリンチは和解後、「調査推奨委員会」を新設し、各アナリストが売買推奨を変更する際に審査する態勢をとった。委員会には株式調査だけでなく、債券調査や投資戦略の幹部が入り、幅広い視点から判断するようになった」（クロニンク氏）。アナリストの報酬も推奨成績を考慮。従来は少なかった「売り推奨」も増やしている。もっともランキングを見れば、投資銀行を持たない独立系が上位十社中六社を占めており、独立系の優位が依然続いてい